

リリースバージョン	PicOS 1.6
リビジョン	9323
リリース日	2013年1月5日

## 【新機能および拡張機能】

### ■OVSモード

1. OpenFlow 1.2をサポートしました
2. MPLS(ラベルスイッチング方式)をサポートしました
3. マルチテーブル、WDP(ワイルドカードデータベース)をサポートしました
4. RR(ラウンドロビン)、WRRとWFQキュースケジューリング機能を追加しました
5. P-3290とP-3295では2048フローまでを、P-3780およびP-3920では1024フローまでをサポートしました
6. OVSモードでファンの制御機構を追加しました
7. 受信したARPパケットは、ソフトウェアによって処理されるようになりました
8. OVSで新しいデータバスタイプを受け入れるようになりました。(新:pica8 従来:pronto)

### ■L2/L3スイッチモード

1. L2 BPDUのトンネリングをサポートしました
2. イーサネットポートのリンクがアップになったときにASICとソフトウェア間でARP同期が実施されるようになりました
3. ルートテーブルをこれまでのIPv4用の12,000個に加えて、IPv6用に6,000個まで設定可能になりました
4. TELNETの代わりにICMPによってTACACS+アライブを検出することが出来るようになりました
5. L2でのQinQコマンドを最適化します

## 【重要なバグ修正】

1. デフォルトでは、OVSのログ設定は無効になっています。長時間、実行した際、容量不足に起因する問題を解消する為です
2. VLANインターフェイスにVRRPを設定した後、スイッチのASICからルートが削除されていましたが、このバグは修正されました
3. ハイブリッドモードにおけるDPIDのバグは、このリリースで修正されました

## 【既知の問題】

1. OVSモードでLAGはサポートされません
2. OVSモードでグループテーブルはサポートされません
3. OVSモードでL3フィールドの変更はASICによってサポートされていません
4. VLANストリップおよびQinQはOVSモードではサポートされていません
5. OVSモードでは、P-3780とP-3920は、IPv6のサポートが制限されています

お問い合わせは、[cloud-sales@nclc.co.jp](mailto:cloud-sales@nclc.co.jp) まで